

BONECO
healthy air

ボネコ気化式加湿機

型式番号 E2441A

家庭用 取扱説明書

このたびは、「ボネコ気化式加湿機」をお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。



Made in CHINA

もくじ

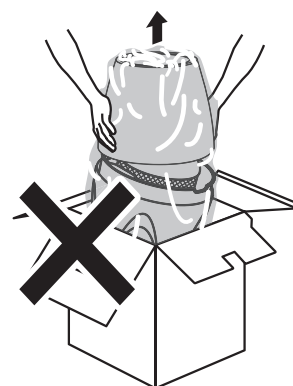
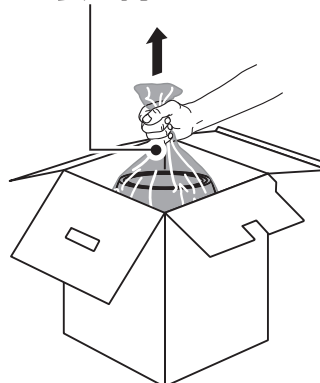
安全上のご注意	1～2
知っておいていただきたいこと	3～4
各部の名称とはたらき	5
使用手順	6～7
お手入れのしかた	8～9
故障かな？と思ったら	10
仕様	10
アフターサービスについて	裏表紙



注意

箱から取り出すときは、製品上の緩衝材を取り外し、必ず袋をしっかりと持ちて取り出してください。本体上部だけ持って取り出そうとすると、本体下部が外れて落下します。

袋を持つ



安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。

⚠ 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」、または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



：禁止



：分解禁止



：水ぬれ禁止



：ぬれ手禁止



：風呂・シャワー室での使用禁止



：指示を守る



：電源プラグを抜く

⚠ 警告

電源／コンセントについて



電源は交流100V (50/60Hz)で「15A 125V」と記されているコンセントからとる

15A 125V



取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取り付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



電源プラグ／電源コードについて



変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社「お客様センター」（裏表紙参照）に、交換を依頼してください。



電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
運転中に電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社「お客様センター」（裏表紙参照）にご相談ください。そのまま使用するとショートや発火する恐れがあります。



コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格容量を超えると、発熱による火災の原因になります。



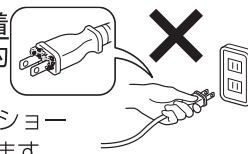
電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。



電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く



動作中に電源プラグを抜き差ししない
運転中に電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。



運転の際は電源コードを解き、余っても束ねない
熱の逃げ場がなくなって高温になり、発火する恐れがあります。

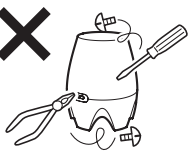


電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

使用中／使用後について



本製品を分解したり、改造をしない
故障や発火の恐れがあります。



お子様だけでは使わせない。
幼児の手の届くところで使わない
感電・ケガの原因になります。



運転中について



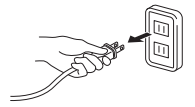
異常が生じた場合は、使用を中止する

万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社「お客様センター」（裏表紙参照）までご連絡ください。

お手入れについて



お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く
感電・ケガの原因になります。



⚠ 注意

電源プラグ／電源コードについて



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



設置場所について



屋外や湿気の多い場所（部屋）、浴室、特殊な環境で使わない
ショートや感電の恐れがあります。また、硫黄などの硫化
ガスが発生する場所や塩害の恐れがある場所で使用しない
てください。故障の原因となります。



平らで安定した場所に置いて使用する
不安定な場所におくと、本製品が転倒し、けがや故障の
原因になります。



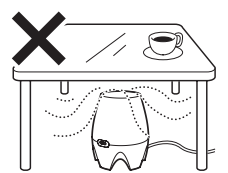
テレビ、ステレオ、電気カーペットなど電気
製品の上で使用しない
水がこぼれると故障や感電の危険があり
ます。



就寝時に使用するとき、風が体に直接当たらない場所に置く
身体が冷え過ぎて体調を損なう原因となります。



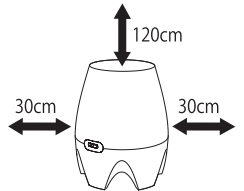
送風孔をふさがない
テーブルや机の下に置くと送風孔
をふさがれ、風（湿った空気）が部
屋中に行き渡りません。



ストーブなどの暖房機と併用する
場合は離して置く
故障の原因になります。



家具などから離して設置する
加湿機は、送風孔の上120cm以
内、加湿機の周り30cm以内に家
具やカーテンなどがない場所に設
置してください。



使用中／使用後について



本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する
感電・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下し
てしまった場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求め
の販売店または弊社「お客様センター」（裏表紙参照）まで
ご連絡ください。



小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う
運転中および運転していないときもお子様が加湿機のそば
にいるときは大人の方が付き添ってください。



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐために抜いてくだ
さい。



本製品を、他の用途や屋外で使用しない
この製品は、室内用の加湿機です。他の目的や屋外で使
用すると、ケガや故障の原因となります。



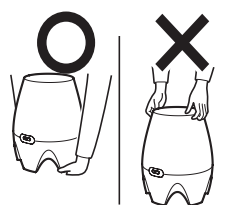
空気吸い込み口に指やピン・針金などを差し込まない
ケガをする恐れがあります。



本製品に腰掛けたり、物を乗せない
ケガや故障の原因となります。



持ち運ぶときは、本体の底を持つ
上部カバーを持つと水槽が落下
し、故障の原因となります。



水槽には水道水を入れる
断水のあとや給水管の老朽化によ
る赤水、または井戸水などを使用す
ると、故障の原因となります。

運転中について



本体に水やジュースをこぼさない
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止してくださ
い。その後、お求めの販売店または弊社「お客様センター」（裏表紙参照）までご連絡ください。

お手入れについて



電気部（本体下部）、電源コード、電源
プラグを水につけたり、水洗いしない
故障や感電の原因になります。



クレンザーやシンナー、金たわしなど
は使わない



塩素系、酸性およびアルカリ性洗剤は
使用しない



毎日必ず水槽に残った水を捨てる
水が入ったまま放置しておくと、異臭の原因となります。



シルバースティックの変色部分を紙ヤスリや金ブラシでこ
すらない
抗菌効果が損なわれる原因となります。



お手入れ後は、各部品をよく乾かしてから取り付ける
各部品が乾いていない状態で組み立てると、故障の原因
になります。

知っておいていただきたいこと

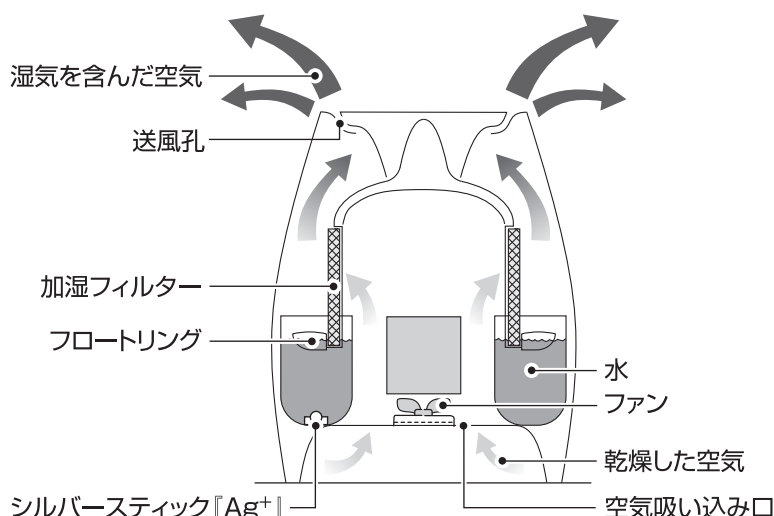
加湿の仕組みと主な特長をご理解いただき、本製品をより効果的にご使用ください。

加湿は“気化式”です

「湯気」や「霧」を強制的に発生させるものではなく、お部屋（空気）の乾燥具合に応じて自然に加湿する＝気化原理に基づいた“気化式”の加湿機です。

電源スイッチを入れるとファンが回転し、室内の乾いた空気を吸い込みます。その乾いた空気は、水槽の水を吸い上げた加湿フィルターを通過することで湿気を含んだ空気となり、送風孔から放出されます。この湿気を含んだ空気は、蒸気とは異なり、加湿状態は目には見えません。

【断面図】



電気製品や家具を傷めません

本機は気化式なので、水道水に含まれるカルキ分などを放出せず、テレビやパソコンの液晶画面や家具などを傷める心配がありません。

水中の雑菌を抑制するシステムを採用しています

水槽にシルバースティック『Ag⁺』を設置し、銀イオンの作用で水中の雑菌の繁殖を抑制します。

気化原理を利用した低消費電力設計です

水を気化するには“気化原理”を利用しますので、必要なエネルギー（消費電力）は、送風用モーター（定格：12W/50Hz、10W/60Hz）だけです。スチーム式加湿機（消費電力250～350W）と比較すると約20分の1以下の電力です。

やけどの心配がない設計です

スチーム式加湿機のように熱い蒸気が発生しませんので、やけどの心配がありません。また、本体に空気を吸い込むためのファン（羽根）は、水槽を外さない限り触ることができません。

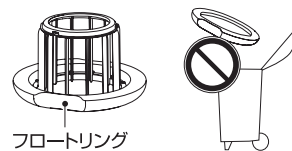
水槽の水が少なくなると自動でモーターが止まります

本機は、水槽内の水が少なくなると、センサーにより自動でモーターが止まり、電源ランプが緑色から赤色に変わります。電源ランプが赤色に点灯している場合は、いったん電源を切ってからタンクに給水してください。

知っておいていただきたいこと(続き)

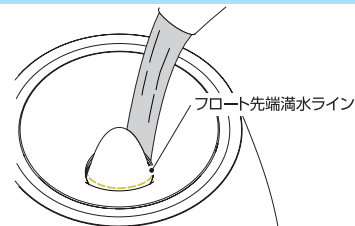
⚠ 注意 フロートリングを捨てないでください

加湿ユニットの底に取り付けられている発泡スチロール製のフロートリングは、梱包用の緩衝材ではありません。取り外して捨てないでください。



⚠ 注意 水槽の容量以上の注水をしないでください

水槽から水があふれて、故障や感電の原因になります。フロート先端の満水ラインが見えたら、すぐに注水を止めてください。

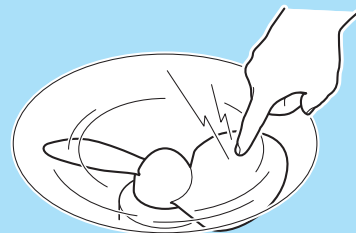


⚠ 注意 就寝時のご使用について

送風孔から出る湿気を含んだ風は、気化作用のために室温より多少低くなります。寝室で使用する際は、風が体に直接当たらないように離してください。※作動音が気になる場合は、弱運転にして足元の方に離して置いてください。

⚠ 注意 回転中のファンに触らないでください

運転中、水槽のすき間に指やピン・針金などの長いものを差し込まないでください。ファンはプラスチック製ですが、触れてけがをすることがあります。また、無理にファンの回転を止めると、モーター軸のずれや、モーターの過熱原因になります。また、運転中に水槽を下部カバーから取り外すと電源は切れますが、ファンはしばらく回り続けますのでご注意ください。

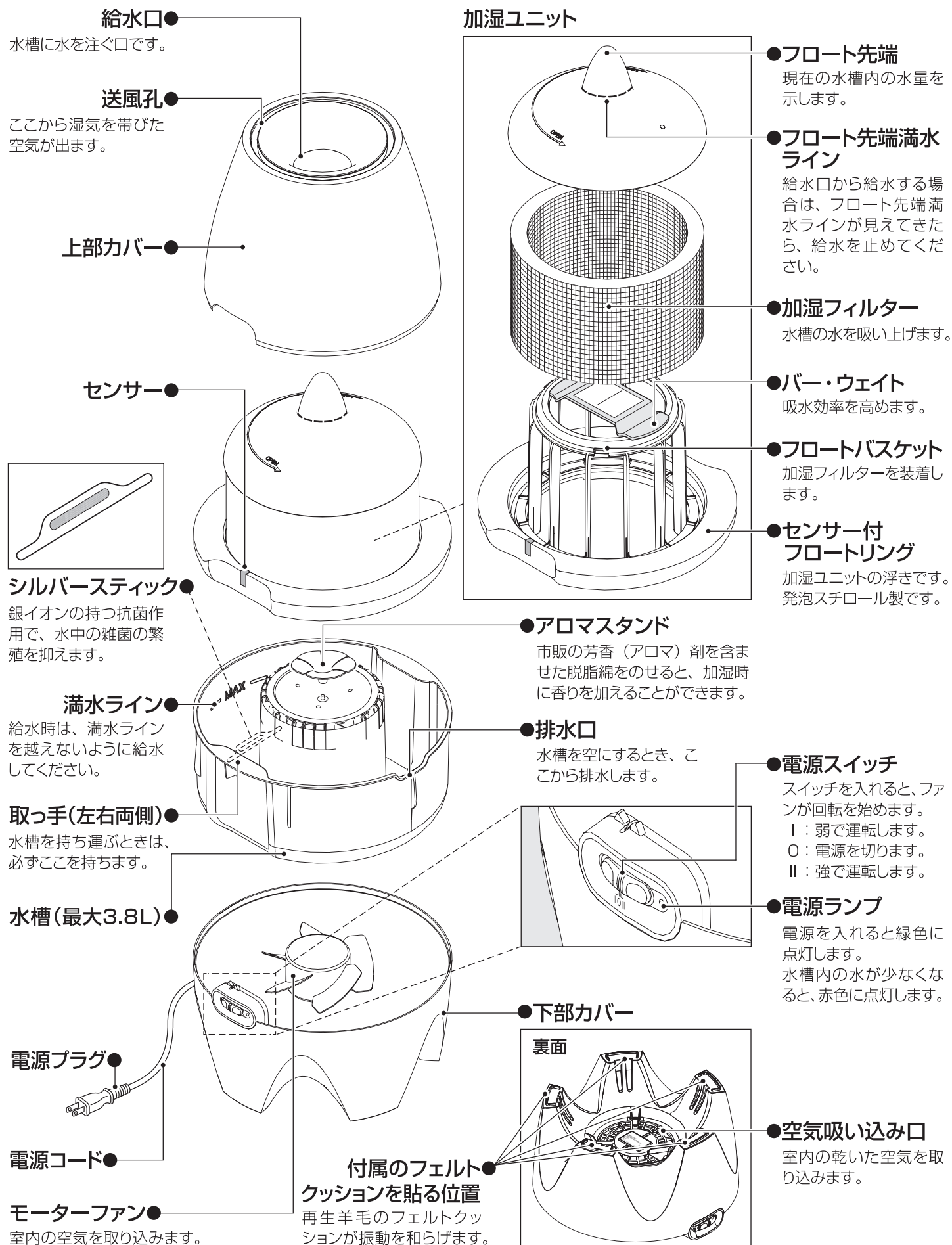


⚠ 注意 水道水以外は使わない

40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・アロマオイル・よごれた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れるとカビや雑菌が繁殖したり、変形や故障の原因になります。

⚠ 注意 毎日必ず水槽に残った水を捨て、新しい水道水で加湿してください

各部の名称とはたらき



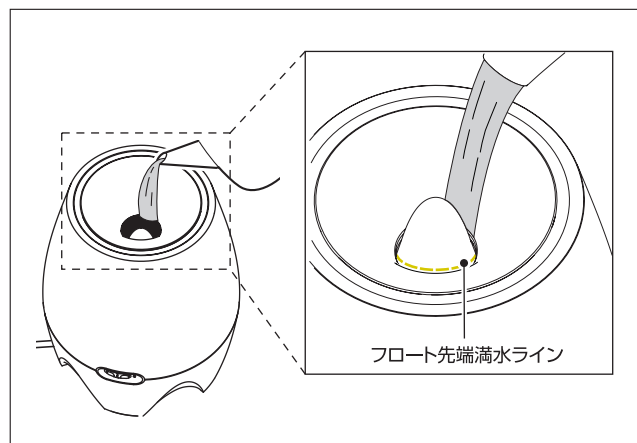
1 水槽に水を入れる

給水口から注水する

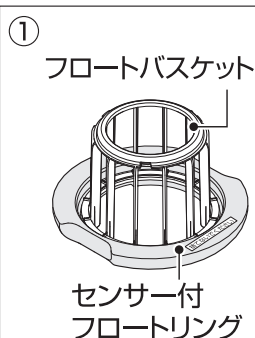
本体上部の給水口に、フロート先端の満水ラインが見えるまで注水します。

水槽に3.8Lの水が注水されると、フロート先端の満水ラインが見えます。満水ラインが見えたら、注水をやめてください。

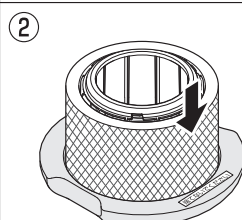
※給水前に下の手順で、水槽底部にシルバースティック、フロートバスケットに加湿フィルター、フロートバスケットの上にバー・ウェイトが装着されていることを確認してください。



- ①センサー付フロートリングの『捨てないでください』表示面を上向きに置き、フロートバスケットを上から奥まで差し込みます。



- ②フィルターをフロートバスケットの下に押し込むように取り付けます。



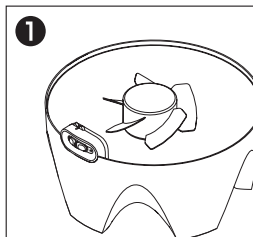
- ③バー・ウェイトのステッカーが貼ってある面を上にして、フロートバスケットの上に載せます。



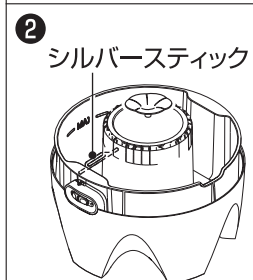
- ④フロートの先端を手のひらで下へ押さえつけながら、時計回りに回します。



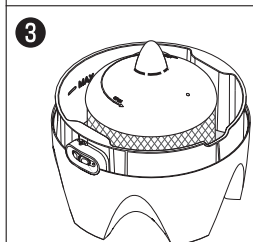
- ①下部カバー



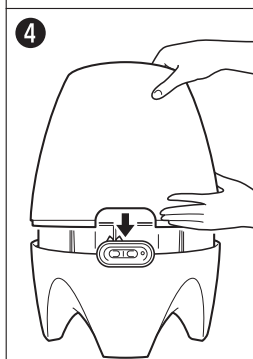
- ②下部カバーにシルバースティックを取り付けた水槽を装着します。



- ③②の水槽に、左の通り準備した④を入れます。



- ④③に上部カバーを装着します。



使用手順（続き）

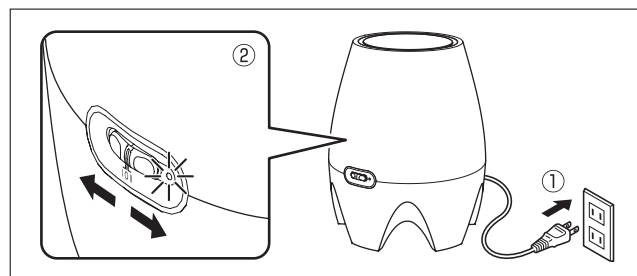
2 電源を入れ、加湿する

①プラグをコンセントにしっかり差し込む

②電源を入れる

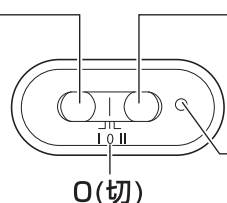
電源スイッチを「Ⅱ」（強）または「Ⅰ」（弱）にセットします。

スイッチ右横の電源ランプが緑色に点灯し、モーターファンが回転します。



風量 弱（電源スイッチ「Ⅰ」）
送風孔からの風量が弱くなります。
動作音が小さくなります。

風量 強（電源スイッチ「Ⅱ」）
送風孔からの風量が強くなります。



電源ランプ
電源を入れると緑色に点灯します。
水槽内の水が少なくなると、赤色に点灯します。

使用中のファンやモーター音について

本製品の構造上、使用中にモーターの回転音やファンの風きり音がわずかに発生します。音に敏感な方や就寝時は、以下の方法をお試しください。

1. 使用／設置する場所をできるだけ頭の位置から離す。
2. 電源スイッチを「Ⅰ」（弱）にセットする。

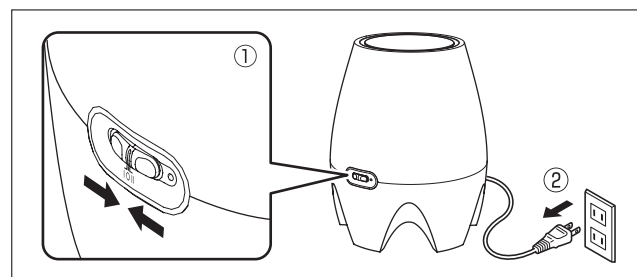
また、ファンやモーター以外の音がするときは、各部の組み立てや取り付けが不完全な場合があります。「故障かな？と思ったら」（10ページ）をご覧ください。

3 停止する／電源を切る

①電源スイッチを切る

電源スイッチを0（切）に戻すと、電源ランプが消えて、ファンが止まります。

②プラグをコンセントから抜く



⚠ 注意 毎日使用しない場合は、必ず水槽に残った水を捨ててください。長期間水を入れたままにすると加湿フィルターにカビが発生しやすくなります。次回使うときは新しい水道水で加湿してください。

水槽内のアロマスタンドに、市販の芳香（アロマ）剤を含ませた脱脂綿をセットすると、送風孔から出る空気に香りを加えて楽しめます。（5ページ参照）

⚠ 注意 水や水槽に芳香（アロマ）剤を直接混ぜないでください。製品（材質）が変色・変質し、故障の原因になります。

お手入れのしかた

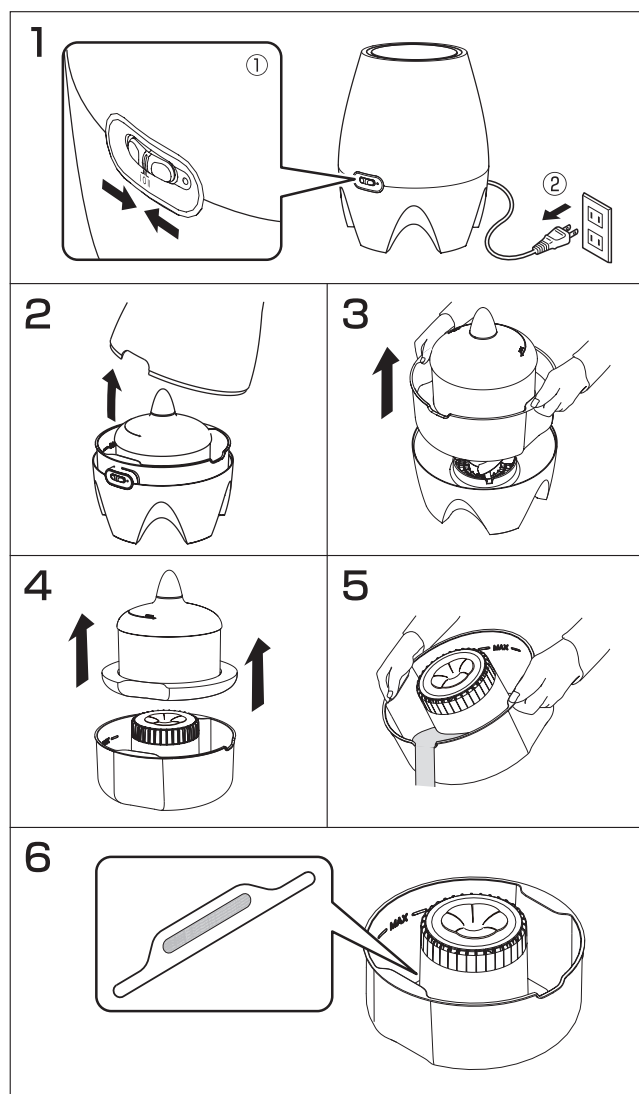
汚れ具合によりますが、1～2週間に1度、下記の要領でお手入れをしてください。
また、シーズンオフは、必ずお手入れをしてから保管してください。

⚠ 注意

- プラグを必ずコンセントから抜いてください。
- 本体下部（モーターファン、電源スイッチ）および電源コードとプラグは、絶対に水に浸けないでください。
- クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。
- 食器洗い機や乾燥機は、使用しないでください。

お手入れをする前に水槽を空にする

- 1** 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜く
- 2** 上部カバーを取り外す
- 3** 水槽を両手で静かに持ち上げ、取り外す
このとき、モーターファンに衝撃を与えないように注意してください。
- 4** 水槽から加湿ユニットを取り外す
このとき、加湿ユニットは水に濡れていますので、水滴に注意し、水に濡れても良い場所に置いてください。
- 5** 水槽に残っている水を捨てる
- 6** シルバースティックを水槽から取り外す



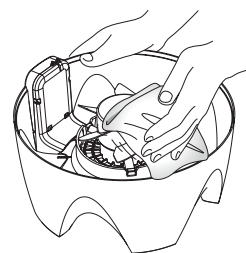
下部カバーおよびモーターファン、電源コードとプラグのお手入れ

水洗いできません

水洗いしないでください。ホコリなどの汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

⚠ 注意

モーターファンや電源スイッチなどに水をかけないでください。故障の原因になります。



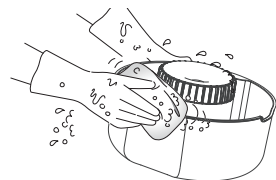
お手入れのしかた（続き）

上部カバー・フロート先端・フロートバスケット・水槽・アロマスタンド

水洗いできます

シルバースティックを取り外してから、本体を柔らかいスポンジと台所用中性洗剤を使って水洗いしてください。

- ⚠ 注意 フロートリングをフロートバスケットから取り外すときは、取り扱いに十分ご注意ください。発泡スチロールが破損する恐れがあります。

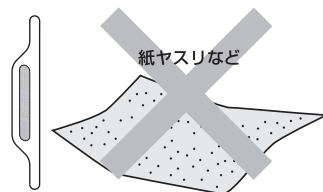


シルバースティック『Ag+』

水洗いできます

付着しているゴミやホコリなどは、水道水で洗い流してください。使っていくうちに銀の特性でメッシュ部分の銀が黒ずむ場合がありますが、性能に影響しません。なお、水槽のお手入れ前に、取り出してください。

※シルバースティックの交換目安は、使用環境により異なりますが、3シーズン（約12か月）です。期間を過ぎた場合は、裏表紙にある「別売品のお求めについて」をご覧ください。



- ⚠ 注意 変色部分を、紙ヤスリや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれる原因となります。

加湿フィルターの装着手順及びお手入れ方法

加湿フィルターの装着の手順

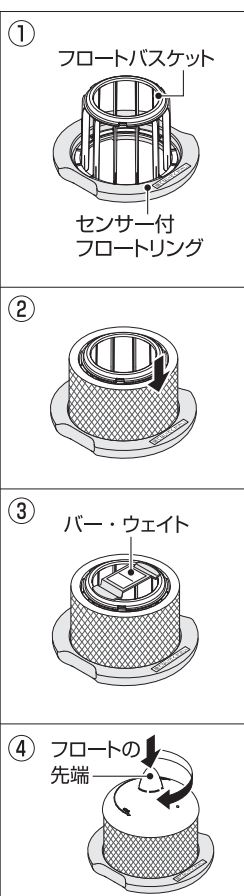
- ①フロートリングの『捨てないでください』表示面を上向きに、フロートバスケットを上から奥まで差し込みます。

- ⚠ 本体に「センサーなしフロートリング」を取り付けしないでください。水がなくなっても自動停止せずファンが回り続けます。

- ②フィルターをフロートバスケットの下に押し込むように取り付けます。（フィルターに上下はありません）フィルターは濡れていても問題ありません。

- ③ステンレスのバー・ウェイトのステッカーが貼ってある面を上にして、フロートバスケットの上に載せます。（これにより、フィルター下部が常に水に浸ることになり、安定した加湿が得られます）

- ④フロートの先端を手のひらで下へ押さえつけながら時計回りに回します。



加湿フィルターのお手入れ方法

本加湿フィルター（洗えるタイプ）は洗ってくり返し使えます。

※使用環境にもよりますが、3シーズン（約12か月）を目安に新しいフィルターと交換してください。

1. 1～2週間に一度のお手入れ

- ①食器用洗剤をぬるま湯に溶かし、フィルターに固着したカルキ汚れを粉々に砕くように揉み洗いしてください。
- ②フィルターを水道水でよくすすいでください。
- ③濡れたままのフィルターをフロートバスケットに取り付けてください。（乾燥させる必要はありません）

2. シーズンオフのお手入れ

フィルターを洗って、陰干しして十分乾燥させてから保存してください。

●汚れがひどい場合

クエン酸水溶液が有効です。

- ①水1リットルに対して「掃除用クエン酸」大さじ1～2杯（15～30グラム）をよく溶かして、15分ほど浸け置きます。
- ②その後、固着したカルキ汚れを粉々に崩すように揉み洗いしてください。
- ③水道水でよくすすぎ洗いしてください。
- ④フィルターを陰干しして十分乾燥させてから保存してください。

保管する場合は…

お手入れ後、各部が完全に乾いて（不完全な場合は、カビなどが発生する可能性があります）から組み立て、製品の入っていた元箱に戻し（またはカバーなどをして）、乾燥した場所に保管してください。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、下記をもう一度チェックしてみてください。それでも異常があるときは、弊社「お客様センター」（裏表紙参照）に修理をご依頼ください。ご自分での分解／修理／改造はおやめください。

状 態	考えられる原因	対処のしかた
1. 給水したときに、フロート先端の満水ラインが見えない	加湿ユニットが取り付けられていない	⇒ 電源スイッチを切り、上部カバーを取り外し、加湿ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
2. 水が減らない（加湿されない）	水槽の水がなくなっている	⇒ 水槽に給水してください。
	お部屋の湿度が十分（目安：50％程度）で水分が気化しない	⇒ 本機は気化式のためお部屋の空気中に十分な水分がある場合には水は減りません。
	暖房器や換気などによる室内環境の変化（温度上昇と乾燥）に加湿が追いついていない	⇒ しばらく様子をみてください。水が減っていれば加湿しています。
	加湿フィルターにカルキ汚れが付着している	⇒ 加湿フィルターにカルキ汚れが付着した状態では水を十分に吸い上げません。フィルターのお手入れ（9ページ参照）または交換を行ってください。
3. 異臭がする	水槽の水がなくなっている	⇒ 水槽に給水してください。
	加湿フィルターが汚れている、もしくは水槽のお手入れが不十分	⇒ 加湿フィルターのお手入れ・交換、もしくは水槽のお手入れを行ってください（9ページ参照）。
4. 本体下部から水があふれている	水を入れすぎた	⇒ 水槽を空にして、本体を乾かしてください。
	水槽が取り付けられていない	⇒ 下部モーターユニットが濡れている恐れがあります。そのままお使いになると、故障や感電の原因になります。弊社「お客様センター」（裏表紙参照）までご連絡ください。
5. 水槽を満水にしても電源ランプが赤色に点灯する	水槽が正しくセットされていない（接触不良）	⇒ 水槽がななめにセットされていないか確認し、下部カバーに対して水平になるように水槽をセットし直してください。
6. 水がなくなっても自動停止しない	センサーなしのフロートリング（旧仕様）を取り付けていませんか？	

仕様

製品名称／型式番号		ボネコ気化式加湿器／E2441A
定 電 圧／周 波 数	交流100V／50/60Hz	
格 消 費 電 力	「強」運転時：12W/10W (50Hz/60Hz) 「弱」運転時：5W/4W (50Hz/60Hz)	
加 湿 能 力*	「強」約170mL/時、「弱」約94mL/時、	
水 槽 容 量（約）	3.8L	
付 属 品	加湿フィルター（洗えるタイプ）×1、シルバースティック×1（装着済み）、 バー・ウェイト×1（装着済み）、フェルトクッション（5枚）	
外形寸法／質量	幅320×奥行320×高さ400mm／4.0kg	

* 室内温度20℃、湿度30%の環境における加湿量です。室温や湿度によって加湿量は変わります。

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブ
ロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下で
あり、環境に配慮して製造されました。

アフターサービスについて

使用中に以下のような異常が生じた場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、10ページ「故障かな?と思ったら」で調べても正常に機能しない場合は、弊社「お客様センター」にご相談ください。

〈点検および修理が必要な場合〉

- ・使用中、電源および電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体に強い衝撃（転倒・落下）を与えた
- ・取扱説明書通りに使用しているのに、正常に機能しない

〈保証規定〉

■保証規定の適用

本保証規定はお客様情報を弊社コンピューターで登録することと有効になります（登録は弊社で行います）。

■保証の範囲

製品名：ボネコ気化式加湿機

型式番号：E2441A

保証期間：商品発送日から5年間 保証対象：本体

本保証は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、上記保証の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 商品発送日から上記保証期間内に故障が発生した場合は、「①.お求めの時期、②.製品名と型式番号、③.故障の状況」をご連絡のうえ修理依頼ください。

2. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。

- イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
- ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障および損傷
- ハ) 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧・周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
- 二) 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
- ホ) お客様登録の際に、意図的な虚偽事項のご登録をされた場合
- ヘ) 消耗品が消耗し、取り替えが必要な場合

3. 本保証規定は日本国内においてのみ有効です (This warranty is valid only in Japan.)

●本保証規定は記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証規定によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理は有償にて修理いたします（商品の構造や部品の都合でまれに修理できない場合があります）。

●補修用性能部品の保有期間は本製品最終輸入日を起点に10年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

別売品のお求めについて

下記に記載してある弊社「お客様センター」までご連絡ください。

●シルバースティック

交換目安は3シーズン（約12ヵ月）です。

価格 1本：1,054円（税抜・送料270円別）

●加湿フィルター（使い捨てタイプ）

交換目安は1シーズン（約3～4ヵ月）です。

価格 1枚：920円（税抜・送料270円別）

フィルターは汚れや破損の状況によって使用期間が前後します。

必ず純正品をご使用ください。指定以外のものは、性能・品質を保証できませんので、使用しないでください。

部品の価格や送料（2018年12月現在）は変わる場合があります。

●加湿フィルター（洗えるタイプ）

交換目安は3シーズン（約12ヵ月）です。

価格 1枚：1,389円（税抜・送料270円別）

カタログハウス お客様センター

（受付時間：日曜、祝日を除く月～金曜日／午前9時～午後7時、
土曜日午前9時～午後6時）

TEL.0120-701-567 / FAX.0120-709-567

メールでのお問合せ customer@cataloghouse.co.jp

株式会社 カタログハウス

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-2 www.cataloghouse.co.jp

PLHI-181222